

**地域活性化特別枠**

**草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要**

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	ミャンマー連邦共和国
2. 事業名	ヤンゴン市 浸水防除能力向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ヤンゴン市では雨期の豪雨により、道路冠水や家屋浸水が頻発しており、経済的損失や衛生悪化は、ヤンゴン市の健全な発展の妨げとなることから、道路排水能力改善が喫緊の課題となっている。ヤンゴン市では、浸水防除に向け、JICAの融資等により本格的な対策事業に着手しようとしており、その効果を適切に発揮するため、計画の次の段階である道路排水施設の適切な建設や維持管理についての能力向上の必要性が高まっており、ヤンゴン市開発委員会（YCDC）排水下水管理オーソリティからも継続した技術協力を強く求められている。
4. プロジェクト目標	YCDC排水下水管理オーソリティが道路排水機能・状況を適切に改善できるようになる。
5. 対象地域、管轄する大使館／領事館	ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン市 在ミャンマー日本国大使館
6. 受益者層（ターゲットグループ）	直接受益者：ヤンゴン市開発委員会（YCDC）排水下水管理オーソリティ職員 間接受益者：モデル地区住民及び利用民（概算人数は事業初期に決定するモデル地区による）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>YCDC排水下水管理オーソリティ職員が、マニュアルに準じて適切な排水能力を持つ道路排水施設の設計・工事監督を実施できるようになる。</li> <li>YCDC排水下水管理オーソリティ職員が、マニュアルに準じて道路排水施設を計画的かつ効率的に維持管理できるようになる。</li> <li>YCDC排水下水管理オーソリティが、継続的な市民啓発活動を計画・実施できるようになる。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 福岡市とYCDC排水下水管理オーソリティは、ヤンゴン市における設計・工事監督の現状分析、課題抽出を行う。</li> <li>1-2 福岡市とYCDC排水下水管理オーソリティは、道路排水施設の設計・工事監督の技術・ノウハウを習得するためのモデル地区を選定する。</li> <li>1-3 福岡市は、排水施設を適切に設計するために必要となる技術について技術指導を行う。</li> <li>1-4 福岡市とYCDC排水下水管理オーソリティは、工事成果物（管渠・ポンプ場等）が必要な性能を持ち、工事が安全に実施されるために、工事監督（施工管理、安全管理など）業務に係るワークショップ・現場実習を行う。</li> <li>1-5 福岡市とYCDC排水下水管理オーソリティは、市民に配慮した工事を実施するため、地域住民説明や補償等についてワークショップを行う。</li> <li>1-6 福岡市とYCDC排水下水管理オーソリティは、道路排水施設の設計・工事監督マニュアルを策定する。</li> <li>1-7 福岡市は、官民連携の上、効率的・効果的な浸水対策に有用な日本企業の有する製品・技術の活用事例等について研修を行う。</li> <li>2-1 福岡市とYCDC排水下水管理オーソリティは、道路排水施設の維持管理の現状分析、課題抽出を行う。</li> <li>2-2 福岡市は、道路排水機能を適切に保つために、維持管理における技術・ノウハウに係る技術指導を行う。</li> <li>2-3 福岡市は、道路排水施設の維持管理に必要な規制に関し、日本における法律や制度等、日本の事例をモデルとして研修を行う。</li> <li>2-4 福岡市とYCDC排水下水管理オーソリティは、モデル地区において下水道台帳を整備する。</li> <li>2-5 福岡市とYCDC排水下水管理オーソリティは、道路排水施設の維持管理を行うためのマニュアルを策定する。</li> <li>2-6 福岡市は、官民連携の上、効率的・効果的な維持管理に有用な日本企業の有する製品・技術の活用事例等について研修を行う。</li> <li>3-1 福岡市とYCDC排水下水管理オーソリティは、市民啓発に関する現状分析・課題抽出を行う。</li> <li>3-2 YCDC排水下水管理オーソリティ職員が、浸水被害軽減に向けた市民協力の必要性について理解するため、福岡市とYCDC排水下水管理オーソリティが市民啓発に係るワークショップを行う。</li> <li>3-3 YCDC排水下水管理オーソリティは、市民の意識調査を実施する。</li> <li>3-4 YCDC排水下水管理オーソリティは福岡市の協力のもと、効果的な市民啓発を計画する。</li> <li>3-5 YCDC排水下水管理オーソリティは福岡市の協力のもと、計画に基づく市民啓発活動を実施する。</li> </ol>
8. 実施期間	（西暦）2020年1月～2023年1月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	40,329千円
10. 事業の実施体制	福岡市道路下水道局を実施主体とし、局内の職員で組織する「下水道国際展開ワーキンググループ」（103名登録）を中心に、局全体として実施。「福岡市国際貢献・ビジネス推進会議」、「福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム」と連携・協力し、地域全体での推進を図る。
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名（提案自治体名）	福岡市道路下水道局（福岡市）
2. 活動内容	2016年3月～ JICA草の根技術協力事業「ヤンゴン市道路排水能力改善事業」実施 2016年12月 ヤンゴン市と姉妹都市締結 2017年2月～ YCDCへ職員1名派遣（「まちづくり協力支援アドバイザー」） 2018年5月～ YCDC道路橋梁局（現）排水下水管理オーソリティ）職員を受入れ、長期技術研修を福岡市で実施